

住宅宿泊事業届出書  
(第一面)

住宅宿泊事業法第3条第1項の規定により、住宅宿泊事業の届出をします。  
この届出書及び添付書類の記載事項は、事実と相違ありません。

年 月 日

殿

届出者 商号又は名称  
氏 名  
(法人である場合においては、代表者の氏名)  
電話番号  
ファクシミリ番号

受付番号          
受付年月日

※ 

届出番号	第	号	
届出年月日	年	月	日

◎ 商号、名称又は氏名、住所及び連絡先

法人番号	<input type="text"/>
フリガナ	<input type="text"/>
商号、名称 又は氏名	<input type="text"/>
郵便番号	<input type="text"/> - <input type="text"/>
住所	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>

法人・個人の別  
 1. 法人  
 2. 個人

確認欄

◎ 代表者又は個人に関する事項

フリガナ	<input type="text"/>
氏名	<input type="text"/>
生年月日	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性

確認欄





(第四面)

受付番号

※					
---	--	--	--	--	--

◎ 住宅宿泊管理業に関する事項(住宅宿泊管理業者である場合)

登録年月日		—		年		月		日
登録番号								

確認欄

※
---

◎ 住宅に関する事項

郵便番号		—		
所在地				
不動産番号				
第2条各号に掲げる家屋の別	<input type="checkbox"/> 現に人の生活の本拠として使用されている家屋	<input type="checkbox"/> 入居者の募集が行われている家屋	<input type="checkbox"/> 随時その所有者、賃借人又は転借人の居住の用に供されている家屋	
住宅の建て方	<input type="checkbox"/> 一戸建ての住宅	<input type="checkbox"/> 長屋	<input type="checkbox"/> 共同住宅	<input type="checkbox"/> 寄宿舍
住宅の規模	居室			m <sup>2</sup>
		宿泊室	宿泊者の使用に供する部分(宿泊室を除く)	合計
	階	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	階	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
	階	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>
合計	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	

確認欄

※
---

◎ 営業所又は事務所に関する事項(営業所又は事務所を設ける場合)

営業所又は事務所の名称								
郵便番号		—						
所在地								
電話番号								

確認欄

※
---

営業所又は事務所の名称								
郵便番号		—						
所在地								
電話番号								

確認欄

※
---

営業所又は事務所の名称								
郵便番号		—						
所在地								
電話番号								

確認欄

※
---



## 備考

### 1 各面共通事項

- ① 届出者は、※印の欄には記入しないこと。
- ② 「生年月日」及び「登録年月日」の欄は、最初の□には下表より該当する元号のコードを記入するとともに、□に数字を記入するに当たっては、空位の□に「0」を記入すること。

(記入例) 

S
---

 — 

6	0
---	---

 年 

0	1
---	---

 月 

0	1
---	---

 日  
[昭和60年1月1日の場合]

M	明治	S	昭和	R	令和
T	大正	H	平成		

- ③ 氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで、姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「氏名」の欄も姓と名の間に1文字分空けて左詰めで記入すること。
- ④ 「住所」及び「所在地」の欄は、「丁目」、「番」及び「号」をそれぞれ—(ダッシュ)で区切り、上段から左詰めで記入すること。

(記入例) 

東	京	都	千	代	田	区	霞	が	関	2	—	1	—	3				
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	--

- ⑤ 届出者が未成年者である場合には、法定代理人の同意書を添付すること。

### 2 第一面関係

- ① 法人番号は、届出者が法人である場合にのみ記入すること。  
※ 法人番号とは、国税庁から指定・通知される13桁の番号。(商業登記簿の会社法人等番号12桁の左側に1桁を付加したもの)
- ② 商号、名称又は氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで上段から左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「商号、名称又は氏名」も、上段から左詰めで記入すること。
- ③ 「法人・個人の別」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ④ 代表者又は個人に関する事項については、法人である場合で代表者が複数存在するときには、届出者である代表者について記入し、その他の者については、第三面の役員に関する事項の欄に記入すること。  
例えば、株式会社の場合で代表取締役が複数存在するときには、届出者である代表取締役について記入し、その他の者については、第三面の役員に関する事項の欄に記入すること。

### 3 第二面関係

- ① 法定代理人の代表者に関する事項(法人である場合)及び法定代理人の役員に関する事項(法人である場合)の届出は、届出者の法定代理人が法人である場合にのみ記入すること。
- ② 商号、名称又は氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで上段から左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「商号、名称又は氏名」も、上段から左詰めで記入すること。
- ③ 「法人・個人の別」の欄は、該当する番号を記入すること。
- ④ 法定代理人の代表者に関する事項(法人である場合)について、代表者が複数存在するときには、その中から選任された1名の代表者について記入し、その他の者については、法定代理人の役員に関する事項(法人である場合)に記入すること。  
例えば、株式会社の場合で代表取締役が複数存在するときには、その中から選任された1名の他の代表取締役について記入し、その他の者については、法定代理人の役員に関する事項(法人である場合)の欄に記入すること。
- ⑤ 第二面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

### 4 第三面関係

- ① 第三面は、届出者が法人である場合にのみ記入すること。
- ② 役員に関する事項の欄は、第一面で代表者として記入した者については記入しないこと。
- ③ 第三面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

### 5 第四面関係

- ① 住宅宿泊管理業に関する事項(住宅宿泊管理業者である場合)の届出は、届出者が住宅宿泊管理業者である場合にのみ記入すること。

- ② 営業所又は事務所に関する事項(営業所又は事務所を設ける場合)の届出は、届出者が、営業所又は事務所を設ける場合にのみ記入すること。また、営業所又は事務所ごとに作成すること。
- ③ 「電話番号」の欄は、市外局番、市内局番、番号をそれぞれ―(ダッシュ)で区切り、左詰めで記入すること。

(記入例)

0	3	―	5	2	5	3	―	8	1	1	1
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- ④ 第四面に記載しきれない場合は、同じ様式により作成した書面に記載して当該面の次に添付すること。

#### 6 第五面関係

- ① 住宅宿泊管理業務の委託に関する事項(住宅宿泊管理業務を委託する場合)の届出は、届出者が住宅宿泊管理業務を委託する場合にのみ記入すること。
- ② 商号、名称又は氏名の「フリガナ」の欄は、カタカナで上段から左詰めで記入し、その際、濁点及び半濁点は1文字として扱うこと。また、「商号、名称又は氏名」も、上段から左詰めで記入すること。